



寝屋川の冬の風物詩

ねや川のえべっさん

1月9日から11日まで住吉神社（木田町）で「十日戎」が開催されました。毎年、大阪市内・京都・奈良などの遠方からも多くの方が訪れ、10万人を超える参拝客でにぎわいます。また、ねや川戎は市民の投票で選出された「新寝屋川八景」に選ばれ、新年の風物詩として親しまれています。

今年も、「商売繁盛笹もってこい ねや川えべっさんここだっせ」と戎ばやしが賑やかに響きわたりました。



成人式

創造～ HELLO NEXT STAGE!! ～

1月14日、市立市民会館で成人式を行いました。今年は2,403人の新成人のうち1,632人が出席しました。

第一部の式典では、新成人の代表が誓いの言葉を述べ、市ふるさと大使・大関豪栄道関のビデオレターが放映されました。第二部では吉本芸人によるお笑いライブや抽選会などで盛り上がりました。



三井のお弓行事

市指定無形民俗文化財

「成人の日」の前日の1月13日、美井三町自治会館で三井文化保存会による新春のお弓行事が行われました。

三井のお弓行事は、古くから伝わる三井地区の正月行事で現在は、友呂岐神社の神事として行われています。地元の新成人の中から選ばれた2人が、12本の矢を的に向けて交互に放ち、当たり具合で今年1年を占います。

馬場弘貴さんと池田凌大さん＝写真左から＝が射手を務め、今年は「災害や気候などに気を付けなければならない」との占いが出ました。



守るぞ！人命 合同消防出初式

1月13日、淀川河川公園枚方地区淀川アクアシアターで、枚方寝屋川消防組合・寝屋川市消防団・枚方市消防団合同で消防出初式を行いました。消防使命の自覚と団結を深めるために毎年、年の初めに行うものです。

大災害により家屋が倒壊、閉じ込められた人を救出救助する訓練や分列行進、一斉放水など、寝屋川市と枚方市の広域消防力を披露し、訪れた多くの市民から大きな拍手を受けました。



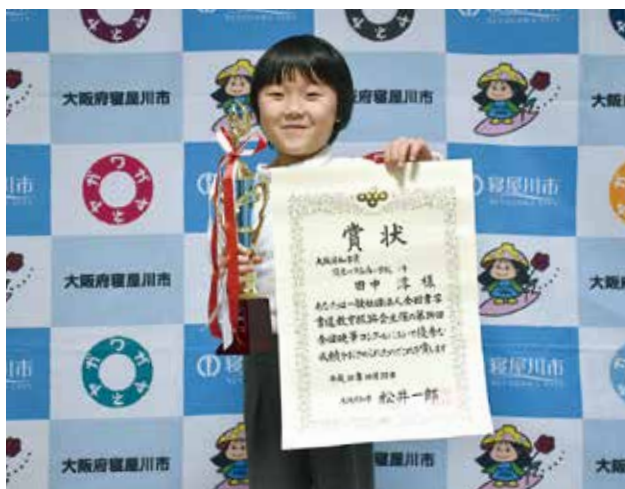
明夢さんのスケボーテクニックの動画を公開しています。上のQRコードから見てください。

市在住スケボー少年 プロ選手に

市内在住の山附明夢さん（13歳・市立第一中学校）は、父親の影響で4歳からスケートボードを始めました。その魅力と楽しさに取りつかれ猛練習を重ねた結果、小学校高学年になる頃には、その技術は父親を超え、若干13歳にして、全日本アマチュア・スケートボード選手権で準優勝を果たしました。今年から、AJSA公認プロになる明夢さんは「海外で活躍できるような選手になりたい」と語ってくれました。

2020年東京オリンピックで正式競技に採用され、盛り上がりを見せるスケートボード。成長著しい若手の有望株。今後ますますの活躍が期待されます。

優秀な成績を取めた皆さん



田中滯さん（市立南小学校1年生）

○第34回全国硬筆コンクール大阪府知事賞を受賞



まるで アート作品

家庭ごみで ツリーや壁画制作

ごみによる環境汚染やリサイクルを考えてもらおうと、英会話教室の生徒らが企画。ボランティアの学生や地域の人たちも参加し、高さ2.7メートルのクリスマスツリーのほか壁画も作り

ました。通りかかった人たちは「まるでアート作品」「ごみがこんなにきれいに見えるなんて」と見入っていました。

計画した西村哲子さんは「作品は展示後、一般ごみや資源ごみなどに分別して処理しました。もっと環境問題に関心を持ってくれたらうれしい」と話していました。



小学校の教え子が「学級の記録」作成

手作り問題集や遠足のしおり

市立北小学校を昭和27年に卒業した級友たちが、当時の教材を集めた「羽山学級の記録」を作りました。4年生～6年生の担任だった恩師の羽山幸雄さん（89歳）が当時、授業や学校行事のためにガリ版（謄写版）で手作りした資料が紹介されており、9年前に出版した記念文集に続く第2弾です。

文集を作成した前回、手作りの教材など多くの資料が残っていることが分かり、「当時を知ることが出来る思い出の数々。放っておくのはもったいない」と、市内に住む喜多善史さん、寺井征子さん、清水英雄さん＝写真右から＝らが編集しました。

学級の記録はA4判、106ページで120冊作成。羽山さんと教え子43人が過ごした3年間の年表に沿って、社会科で使った白地図や夏休み問題集、創作劇の脚本や比叡山に出掛けた遠足のしおりなどを紹介しています。

喜多さんらは「戦後の混乱と物不足の時代に私たちの教育のために心血を注いでくれた先生と、それに応えた児童がいたということを次の世代に伝えたい」と話しています。

いしぶみ

碑

寝屋川改修記念碑

(河北西町)



深北緑地近くの寝屋川沿いにあります。昭和45年の建立で、知事が揮毫し、建立世話人4人、発起人18人の名前が刻まれています。水路としての寝屋川は、北河内と大阪市内を結ぶ重要なルートで、かつては農作物を運ぶ剣先舟でにぎわいました。その一方、しばしば洪水を起こす暴れ川でもありました。

碑は第2次治水計画による改修を記念して建立されました。しかし2年後、九州から関東地方にまで被害を及ぼした「昭和47年7月豪雨」の折に、寝屋川流域は大東市などで大規模な水害が起きました。人間の歴史は水との戦いの歴史だといわれます。寝屋川治水計画は平成元年、流域の基本高水流量を大幅に見直す第3次治水計画を策定、豪雨に備えています。

